社会資本総合整備計画書社会資本整備総合交付金

(山形県酒田市)

令和2年 1月 9日 令和5年12月18日(第3回変更) 令和6年 9月 6日(第4回変更) 令和7年 8月27日(第5回変更) 社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金 令和05年12月18日

1-2	2 T MO I II											
計画の名	称 酒田市におけ	る安全で安心な下水道の整備										
計画の期	間 令和02年	度 ~ 令和06年度 (5年間)						重点配分対	象の該当			
交付対	瀬 酒田市											
		より生活排水対策に取り組み、安全										
全体事	業費(百万円)	合計 (A + B + C + D)	111 A	111 B	0 C	0 D	0 効果促進事業	業費の割合 C / (A + B + C	+ D) 0 %			
				計	一の成果目標(定量的指	[標]						
番号				定量的指標の現況値及び目標値								
田勺			定量的指標の定	当初現況値	中間目標値	最終目標値						
							R02		R06			
1												
	下水道処理人口						79%	%	80%			
	下水道を利用でき	る人口(人)/総人口(人)										
									<u> </u>			
								-1	-			
							1	- 1	.1			
		備考等		個別施設計画を含む -	国土強靱化を含む	- 定住自立圏を含む	- 連携中枢都市圏を含む -	流域水循環計画を含む -	地域再生計画を含む -			
					•	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-	-			

	番号	事業	地域	交付	付直接	击业士	1 4 00 4	1 4 00 0	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/	事業実施期間 (年度)		全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業(大)		種別		対象	間接		種別 1	種別 2	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	R02 R03	R04 R05 R06	(百万円)	便益比	策定状況
		一体的に	実施する	ることによ	り期待	される効果			1		•					
		带考														
水道事業	A07-001	下水道	一般	酒田市	直接	酒田市	管渠(新設	酒田第9汚水幹線及び枝線	汚水管 150 L=0.5km	酒田市			33		-
							汚水)		(未普及解消)							
	A07-002	下水道	一般	酒田市	直接	酒田市	管渠(-	基本的な計画の見直し(庄	調査検討業務	酒田市			9		T-
							汚水)		内処理区)							
			1				-									
	A07-003	下水道	一般	酒田市	直接	酒田市	管渠(-	基本的な計画の見直し(酒	調査検討業務	酒田市			11		-
							汚水)		田処理区)							
	A07-004	下水道	一般	酒田市	直接	酒田市	管渠(-		調査検討業務	酒田市			0		T-
							汚水)		八幡・西谷地・松山)							
	A07-005	下水道	一般	酒田市	直接	酒田市	管渠(新設	酒田第7汚水幹線及び枝線	汚水管 150 L=0.4km	酒田市			58		-
							汚水)		(未普及解消)							
											小計			111		\Box
							1				-			1	I	
											合計			111		
				1							1					

1

案件番号: 0000689773

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R02	R03	RO4	R05	R06
配分額 (a)	21	5	0	3	12
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	3	0
交付額 (c=a+b)	21	5	0	0	12
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	0
支払済額 (e)	21	5	0	0	12
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場					
合その理由					

案件番号: 0000689773

事前評価チェックシート

計画の名称: 酒田市における安全で安心な下水道の整備

事 前 評 価	チェック欄
Ⅰ. 目標の妥当性	
上位計画と整合性が確保されている。	0
Ⅰ. 目標の妥当性	
地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	0
II. 計画の効果・効率性	
目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	0
II. 計画の効果・効率性	1
指標・数値目標が分がりやすいものとなっている。	0
II. 計画の効果・効率性	1
目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	0
Ⅱ. 計画の効果・効率性	
十分な事業効果が得られることが確認されている。	0
.計画の実現可能性	
事業の具体性など事業の熟度が高い。	0
事業の実施について、住民等の間で合意形成がおこなわれている。	0
川・計画の実現可能性	
計画期間中の計画管理(モニタリング)体制が適切である。	0

案件番号:0000689773

(図面) 社会資本整備総合交付金

